

福井県監査委員告示第9号

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第14項の規定により、知事、教育委員会教育長および公安委員会委員長から、令和7年2月19日付けの監査結果に基づき措置を講じた旨の通知があったので、その内容を次のとおり公表する。

令和7年5月13日

福井県監査委員	山本 建
同	松崎 雄城
同	五十嵐 昌子
同	伊藤 和弘

福井県知事からの措置報告

Ⅰ 総務部

監 査 対 象 機 関	知事公室広報広聴課
監 査 の 結 果	公用車を損傷し、修繕費の支払が発生していた。 (修繕費 115,500円)
措 置 の 内 容	課員全員に対し、常に細心の注意を払い安全運転に努めるとともに、同乗者も周囲の安全確認を行うなど、安全運転の意識向上と道路交通法規の遵守を徹底するよう指導した。更に、県内交通事故に関する情報を課内で共有し、交通事故の防止に努めている。

監 査 対 象 機 関	財産活用課
監 査 の 結 果	昨年度に引き続き、庁舎維持管理負担金の算定を誤っているものがあった。2,866円を過少に調定し、後日追加徴収していたほか、90,074円を過大に調定し、過大徴収分7,211円を後日還付していた。
措 置 の 内 容	負担金の算定誤りについては、令和4年度は他団体の電気使用量を誤って引用したことが原因であり、昨年度は第3四半期請求時に第2四半期の実績を誤って引用したことが原因であった。 今年度の第1四半期請求分からは、決裁時に過去の期ごとの実績（昨年度および今年度）を添付することで算出根拠に誤りがないかの確認を徹底し、再発防止に努めている。

2 未来創造部

監 査 対 象 機 関	DX推進課
監 査 の 結 果	1 昨年度に引き続き、委託業務にかかる特定調達において、落札者等の公示が遅れているものがあった。 2 歳出予算を執行する際は、事前に執行伺を作成し決裁を受けなければならないが、委託料にかかる執行伺の作成を失念し、契約締結前に業務に着手させているものがあった。
措 置 の 内 容	1 特定調達契約の案件一覧を課内で共有するとともに、入札結果報告書には、必ず県報掲載の起案を添付するよう徹底し、公示遅れがないよう努めていく。 2 業務の繁忙期には、担当者ひとりが抱え込まないよう、正、副の担当者間で業務のフォローを行うとともに、グループリーダーが進捗管理を徹底し、適切な会計事務の執行に努めていく。

監 査 対 象 機 関	新幹線・交通まちづくり局地域鉄道課
監 査 の 結 果	公用車の事故（物損１件）により、損害賠償金の支払が発生していた。 （損害賠償額 ７２,３００円）
措 置 の 内 容	課員全員に対し、公私を問わず交通法規を遵守し、安全運転に努めるよう改めて周知徹底した。今後も、あらゆる機会を捉えて交通事故防止に関する意識啓発を図っていく。

監 査 対 象 機 関	嶺南振興局（二州）
監 査 の 結 果	補助金について、実績報告書の受理後、額の確定の手続が特段の理由なく著しく遅れているものがあった。
措 置 の 内 容	補助金の交付申請から支払いまでの手続、処理年月日などを網羅したチェックリストの情報を共有して「見える化」し、複数職員が補助事業の進捗状況を定期的に確認することで再発防止を図っている。

３ 防災安全部

監 査 対 象 機 関	危機管理課
監 査 の 結 果	公用車を損傷し、修繕費の支払が発生していた。 （修繕費 ２５８,６６５円）
措 置 の 内 容	公用車を運転する際は、常に細心の注意を払いながら安全運転に務めるとともに、交通法規を遵守するよう職員に対して改めて周知徹底し、安全運転の意識向上を図った。

監 査 対 象 機 関	消防保安課
監 査 の 結 果	公用車の事故（物損１件）により、損害賠償金の支払が発生していた。 （損害賠償額 １７１,１３６円）
措 置 の 内 容	職員に対して、常に注意を払いながら、安全運転を心がけるとともに、交通法規を遵守するよう周知徹底し、安全運転の意識向上を図った。

4 交流文化部

監 査 対 象 機 関	観光誘客課
監 査 の 結 果	1 資金前渡した通信運搬費について、資金前渡職員口座からの払出しが遅れたため、職員が立替払しているものがあった。 2 歳出予算を執行する際は、事前に執行伺を作成し決裁を受けなければならないが、委託料に係る執行伺の作成を失念し、契約締結前に業務に着手させているものがあった。 3 公用車の事故（人身・物損2件）により、損害賠償金および修繕費の支払が発生していた。 （損害賠償額 1,410,738円・修繕費 422,169円、損害賠償額 402,605円）
措 置 の 内 容	1 資金前渡する場合は、払出しの日程を複数職員により管理するよう体制の見直しを行った。 2 グループの業務の進捗状況について、リーダーが定期的に確認を行うとともに、複数職員による内容確認を徹底するよう職員に指導を行った。 3 事故を起こした本人に対し、公用車を使用しているという自覚を持ち、細心の注意を払って運転するように指導するとともに、他職員に対しても自動車運転に細心の注意を払うよう改めて指導を行った。

監 査 対 象 機 関	文化・スポーツ局文化課
監 査 の 結 果	1 歳出予算を執行する際は、事前に執行伺を作成し決裁を受けなければならないが、委託料にかかる執行伺の作成を失念し、契約締結前に業務に着手させているものがあった。 2 公用車の事故（物損1件）により、損害賠償金および修繕費の支払が発生していた。 （損害賠償額 142,293円・修繕費 210,108円）
措 置 の 内 容	1 委託事業等の手続状況について、一覧表を作成するなど、各グループリーダー等が定期的に進捗を確認し、執行伺の作成が遅れないよう徹底する。 2 所属長が課員全員に対して道路交通法の遵守および安全運転の声掛けを行い、再発防止に努める。

監 査 対 象 機 関	文化・スポーツ局ふくい桜マラソン課
監 査 の 結 果	公用車の事故（人身・物損１件）により、損害賠償金および修繕費の支払が発生していた。 （損害賠償額 ８７,７４４円・修繕費 ７７,０７８円）
措 置 の 内 容	全職員に対し、交通安全と交通法規の遵守について注意喚起を徹底し、公用車は県有財産であることを強く認識させた。また、事故の際には速やかな報告をするよう周知徹底を図った。

５ 健康福祉部

監 査 対 象 機 関	地域福祉課
監 査 の 結 果	令和４年度に発注しなければならない工事について、契約手続を失念し契約締結が年度を超え大幅に遅れたことにより、資材等の価格高騰と供給不足の影響を受け、当初の予算額と工期で施工できなくなっていた。
措 置 の 内 容	業務の進行管理を複数職員で共有・把握するとともに、課員の業務の平準化を図るため事務分担の見直しを行い、適正に予算を執行する体制をとった。

監 査 対 象 機 関	長寿福祉課
監 査 の 結 果	前回監査において指導された補助金交付事務マニュアルの記載誤りについて、是正していなかった。
措 置 の 内 容	前回監査で指導を受けた内容については、令和５年度から補助の仕組みを見直して対応し、さらに改正が必要であった部分についても修正済みである。

監 査 対 象 機 関	障がい福祉課
監 査 の 結 果	国から発出された債権発生通知を未処理のまま保管し、福井市および永平寺町への納付書の送付が遅れたことにより、福井市に延滞金１,１９９円が発生していた。
措 置 の 内 容	国より債権発生通知が届き次第、速やかに審査指導課へ回送するよう課員に周知徹底した。 また、審査指導課に依頼し、適正な会計事務処理方法について指導してもらい、課員の資質向上を図った。 今後は、課内のチェック体制を強化し、再発防止に努める。

監 査 対 象 機 関	こども未来課
監 査 の 結 果	指名競争入札において、最低制限価格の算定に必要な基準額の入力を誤ったため、入札を無効としたものがあった。
措 置 の 内 容	部内で事案の概要等を共有するとともに、課内で勉強会を実施し、課員全員に正しいシステム入力方法を徹底した。

監 査 対 象 機 関	児童家庭課
監 査 の 結 果	1 補助金について、交付決定が特段の理由なく著しく遅れているものがあった。 2 委託契約において、契約金額に変更があったにもかかわらず、変更契約を締結していないものがあった。
措 置 の 内 容	1 各事業の進捗について、事業担当者だけではなく複数職員で管理し、交付決定が適切に行われるようチェック体制を強化した。 2 契約に関する事務の流れについて、全職員が改めて確認し、必要な手続を適正に行うよう周知徹底した。

監 査 対 象 機 関	嶺南振興局二州健康福祉センター
監 査 の 結 果	公用車を損傷し、修繕費の支払が発生していた。 (修繕費 158,719円)
措 置 の 内 容	自動車の安全運転と交通規則の遵守を徹底するよう全職員に対して注意を促した。本件損傷は、夜間に狭い公用車駐車場の使用を試みたことが一因であるため、夜間・悪天候等の条件不良時は、一時的に広い来客用駐車場を使用するよう全職員に指導した。

監 査 対 象 機 関	和敬学園
監 査 の 結 果	通帳を紛失したと誤認し、取引明細表発行手数料を支出していた。また、通帳発行手数料を職員が立替払していた。
措 置 の 内 容	通帳をはじめ金庫内の物品を持ち出す際と戻す際には、総務課長と担当者として目視確認を徹底するとともに、すべての通帳が金庫内に保管されているかを、月に一度以上目視で確認し、紛失や紛失誤認が起きないように取り組んだ。 また、公的に必要な経費が発生した場合は、公費で所要経費を支出する旨を職員に周知し、職場全体で認識の共有を行った。

6 産業労働部

監 査 対 象 機 関	労働政策課
監 査 の 結 果	請求金額の確認不足により、補助金１件８,０００円を過大に交付し、後日返納させていた。
措 置 の 内 容	補助金の各正副担当者に、支出命令の際には、請求書の請求金額に誤りがないか、補助金の実績報告書等の根拠資料との確認をするよう周知した。

監 査 対 象 機 関	成長産業立地課
監 査 の 結 果	公用車を損傷し、修繕費の支払が発生していた。 (修繕費 ３１８,４６１円、１２６,５００円)
措 置 の 内 容	公用車の運転を伴う用務においては時間に余裕を持って行動し、安全運転を徹底するとともに、特に後退時には周囲の確認を徹底するよう、課内ミーティング等の機会に周知した。

監 査 対 象 機 関	商業・市場開拓課
監 査 の 結 果	委託料に係る執行伺の作成が遅れ、契約締結前に業務に着手させているものがあった。
措 置 の 内 容	委託業務について、契約に関する事務の流れの再確認と適正な執行を各担当者に周知徹底した。また、事業担当者だけでなく、複数職員で事務手続の進捗管理を行う体制に改め、再発防止に努めている。

7 農林水産部

監 査 対 象 機 関	流通販売課
監 査 の 結 果	公用車を損傷し、修繕費の支払が発生していた。 (修繕費 １８６,９１２円、９９,５０６円)
措 置 の 内 容	所属職員に対し、公務内外を問わず交通法規の遵守と安全運転に努めるよう改めて周知・徹底した。今後も、あらゆる機会を捉えて、安全運転に努めるよう呼びかけを行っていく。

監 査 対 象 機 関	中山間農業・畜産課
監 査 の 結 果	補助金について、実績報告書の受理後、額の確定の手続が特段の理由なく著しく遅れているものがあった。
措 置 の 内 容	実績報告書を受領後、すみやかに額の確定の手続きを行うよう徹底する。また、事業担当者だけでなく、複数の職員で進捗管理を行うこととした。

監 査 対 象 機 関	水産課
監 査 の 結 果	公用車を損傷し、修繕費の支払が発生していた。 (修繕費 128,084円)
措 置 の 内 容	運転者に対し、後退時における周囲の確認および安全運転の徹底を指導した。また全課員に対しても、公用車に同乗する際、後退時には降車して安全確認を徹底するよう指導する等、再発防止を図っている。

監 査 対 象 機 関	県産材活用課
監 査 の 結 果	公用車および地下駐車場設備を損傷し、修繕費の支払が発生していた。 (修繕費 300,454円、364,100円)
措 置 の 内 容	県庁地下駐車場の利用経験の少ない職員については、県庁地下駐車場安全運転講習会を受講させるとともに、全職員に対し、公道以外の運転も含め安全運転の徹底を指導した。

監 査 対 象 機 関	福井農林総合事務所
監 査 の 結 果	公用車の事故（物損1件）により、損害賠償金の支払が発生していた。 (損害賠償額 44,000円)
措 置 の 内 容	運転開始時の声掛け、および毎月の所内連絡会において、交通法規の遵守および安全運転の励行についての注意喚起を行った。また県警察署員を講師とする交通安全教室を開催し、交通安全に対する職員の意識向上を図った。

監 査 対 象 機 関	坂井農林総合事務所
監 査 の 結 果	国有林管理の瑕疵により個人の自動車を損傷し、損害賠償金の支払が発生していた。(損害賠償額 111,000円)
措 置 の 内 容	管理道への進入路に通行禁止の看板を別途配置するとともに、豪雨の際には速やかに現地パトロールを行い、安全対策の徹底に努める。

監 査 対 象 機 関	丹南農林総合事務所
監 査 の 結 果	公用車の事故(人身・物損1件)により、損害賠償金および修繕費の支払が発生していた。 (損害賠償額 3,080,775円、963,088円・修繕費 165,000円)
措 置 の 内 容	事業所として越前警察署が主催する「無事故・無違反コンクール」に参加するとともに、職員が安全運転講習会を受講することで交通安全意識の高揚を図った。 また、日頃から部課長を通じ、職員に対し、安全運転を呼びかけ事故防止に努めている。

監 査 対 象 機 関	畜産試験場
監 査 の 結 果	公用車を損傷し、修繕費の支払が発生していた。 (修繕費 118,800円)
措 置 の 内 容	不慣れな地域での公用車走行時においても、周囲の安全確認を徹底するように指導した。 また、所属職員に対し、公務内外を問わず交通法規の遵守と安全運転に努めるよう改めて周知徹底した。今後も、あらゆる機会を通じて交通事故防止に関する意識啓発を図っていく。

8 土木部

監 査 対 象 機 関	港湾空港課
監 査 の 結 果	1 不注意によりパソコンを損傷し、修繕費を支出していた。 (修繕費 160,600円) 2 通帳を紛失し、再発行に要する諸経費3,850円を支出していた。
措 置 の 内 容	1 課員全員に対し、損傷事案の発生原因を説明し、リスク回避に対する意識付けを行うとともに、物品を取扱う際には細心の注意を払うよう改めて周知徹底した。 2 毎月の前渡資金出納計算書の決裁時に、複数職員により通帳が保管されていることも確認し、再発防止に努めた。

監 査 対 象 機 関	公共建築課
監 査 の 結 果	公用車の事故（物損１件）により、損害賠償金および修繕費の支払が発生していた。 （損害賠償額 １,０４１,１３７円・修繕費 ４９１,６０８円）
措 置 の 内 容	事故後、所属長より、改めて課員全員に対し、安全運転の徹底について指導を行った。その後も定期的に、課内打ち合わせの際、公用車使用時の法令順守や安全運転の徹底について指導を行っている。

監 査 対 象 機 関	福井土木事務所
監 査 の 結 果	１ 手数料について、不要な証紙収納額報告を行ったため、年度を超えて証紙特別会計に返還していた。 ２ 行政財産使用料について、調定決議書の決裁を受けず、また必要な公印押印の手続を行わないまま納入通知書を発行しているものがあった。 ３ 道路占用料等の調定で著しく遅れているものがあった。
措 置 の 内 容	１ 証紙収納に係るシステムへの登録や修正を行う際には、登録画面のコピーを起案に添付し、回議者が証紙原本と登録内容を突合するなど、確認を徹底し再発防止に努めている。 ２ 財務規則等の規定を遵守するよう職員に指導するとともに、公印管守者に対しては、起案書類と押印文書に相違がないかの確認を徹底することとした。また、起案担当者に対しては、起案書類と押印文書の公印管守者への提示を徹底することを指示し、再発防止に努めている。 ３ 年度当初に起案すべき道路占用料等の一覧を事前に作成し、調定の起案者および回議者が一覧を確認しながらチェックを行うこととした。

監 査 対 象 機 関	三国土木事務所
監 査 の 結 果	戻入処理しなければならない当年度支出に係る登録免許税の還付について、歳入調定し雑入で受け入れていた。
措 置 の 内 容	全職員を対象として、職場研修を実施した。歳入、歳出としてそれぞれ処理すべき事務を確認し、財務規則に基づき適切に事務執行するよう周知徹底した。

監 査 対 象 機 関	丹南土木事務所
監 査 の 結 果	公用車の事故（物損３件）により、損害賠償金、修繕費および車両運搬費の支払が発生していた。また、うち１台が廃車せざるを得なくなっていた。 （損害賠償額 ４０５,６８０円・修繕費 ９９,０００円・車両運搬費 ２２５,２８０円、修繕費 ９８,６９２円、１８,７４４円）
措 置 の 内 容	職員の安全運転の意識向上のため、令和６年７月に交通安全講習会を開催した。今後も職員の交通安全と交通法規の遵守について注意喚起していく。

監 査 対 象 機 関	嶺南振興局敦賀土木事務所
監 査 の 結 果	工事に係る負担金について、誤って次年度の予定額で請求し、収納したものがあった。
措 置 の 内 容	複数職員による負担金の算定資料の確認を徹底し、再発防止に努めるよう関係職員に指導を行った。

９ 県立病院

監 査 対 象 機 関	県立病院
監 査 の 結 果	委託契約において、契約金額に変更があったにもかかわらず、変更契約を締結していないものがあった。
措 置 の 内 容	契約額を変更する際は、支出負担行為何額の変更に加え、契約書の内容を確認した上で変更契約を締結するよう、改めて担当職員に周知した。審査の過程で審査担当者も特に入念に確認を徹底している。

福井県教育委員会教育長からの措置報告

監 査 対 象 機 関	保健体育課
監 査 の 結 果	公用車を損傷し、修繕費の支払が発生していた。 （修繕費 ２８２,７２２円）
措 置 の 内 容	所属内の機械式駐車場での事故であるため、発車・駐車時には可能な限り複数人での安全確認を行うよう周知した。また、機械式駐車場にクッション材を貼付し、同様の事故の再発防止を図った。

監 査 対 象 機 関	芦原青年の家
監 査 の 結 果	施設使用料について、調定決議書の決裁を受けず、また必要な公印押印の手続を行わないまま納入通知書を発行しているものが複数あった。
措 置 の 内 容	納入通知書を発行する前に調定決議書の決裁漏れがないか複数職員による確認を徹底した。また、事業担当者が納入通知書を発送する前に公印管理者が押印状況を確認することとし、再発防止を図っていく。

監 査 対 象 機 関	若狭高等学校
監 査 の 結 果	著作権等の侵害により、損害賠償金の支払が発生していた。 (損害賠償額 ３００,０００円)
措 置 の 内 容	全教職員を対象とした著作権に関する校内研修会を開催して、学校教育における著作権の注意点を改めて確認し、著作権等の侵害について再発防止を図った。

監 査 対 象 機 関	武生商工高等学校
監 査 の 結 果	報償費について、債権者を誤って支出し、後日返納を受けているものがあつた。
措 置 の 内 容	雇用伺を作成する時には、債権者の情報に誤りがないか、必ず担当教諭にも確認を求めることとした。また、雇用後に変更が必要となった場合には、変更手続きの段階から事務部へ情報共有を行うよう徹底していく。

監 査 対 象 機 関	敦賀工業高等学校
監 査 の 結 果	行政財産使用許可に係る電気料個人負担金について、調定決議書の決裁を受けず、また必要な公印押印の手続を行わないまま納入通知書を発行しているものがあつた。
措 置 の 内 容	年度当初の行政財産使用許可について、起案書に使用料徴収月チェック欄を追記し、調定決議書の決裁回議の失念防止に努める。 また、公印は公印管理者の承認を得てから押印するよう徹底する。

福井県公安委員会委員長からの措置報告

監 査 対 象 機 関	監察課
監 査 の 結 果	公用車の事故（物損１件）により、損害賠償金および修繕費の支払が発生していた。 （損害賠償額 １０４,５００円・修繕費 ６４,４８２円）
措 置 の 内 容	当事者に対しては、事故発生後、同乗者を含め発生原因と回避可能性、交通事故が組織に及ぼす影響について、幹部から直接指導をするとともに、危険予知トレーニングを実施した。 事故原因が運転者の後方確認の不徹底に起因し、誰にでも起こりうることから、全課員に対して県民の模範となる安全運転に努め、運行前の周辺確認や同乗者による後方誘導等について徹底するよう指導した。

監 査 対 象 機 関	地域機動警察隊
監 査 の 結 果	公用車を損傷し、修繕費および車両引上げ手数料の支払が発生していた。（修繕費等 １３４,０３５円、９,９００円）
措 置 の 内 容	若手職員に対して、運転技能訓練の研修を受けた隊員による同乗運転指導を実施し、運転技術や安全運転に対する意識の向上を図った。 また、全隊員に対して、安全運転に対する意識を持続できるように、隊員が経験したヒヤリハット事例を基に指導、教養を行い、交通事故の防止に対する意識向上を図った。

監 査 対 象 機 関	組織犯罪対策課
監 査 の 結 果	公用車の事故（物損１件）により、損害賠償金の支払が発生していた。（損害賠償額 １１２,２７７円）
措 置 の 内 容	単独運転中の後退時の接触事故であり、運転者に対して後退時における周囲の安全確認の徹底を指導した。 また、全課員に対しても、同様に指導教養するとともに、天候や交通環境に応じた具体的な運転方法等について指導し、再発防止を図っている。

監 査 対 象 機 関	福井警察署
監 査 の 結 果	公用車の事故（物損３件）により、損害賠償金および修繕費の支払が発生していた。 （損害賠償額 ３１７,８１２円・修繕費 ９６,６０２円、損害賠償額 ２１６,２８２円、修繕費 １２６,７２０円）

措 置 の 内 容	当事者に対しては、事故が組織に及ぼす影響等について幹部が指導教養するとともに、交通事故防止教養および同乗運転指導を実施し、再発防止を図った。 また、全署員に対して、自動車保険会社監修の安全運転診断を実施し、個々に安全運転のためのアドバイスを行ったほか、新人警察官・職員に対する同乗運転指導、ドライブレコーダーの設置推奨などを実施し、交通事故防止に対する意識向上を図った。
-----------	---

監 査 対 象 機 関	福井南警察署
監 査 の 結 果	故障車両移動中に個人の自動車を損傷し、損害賠償金の支払が発生していた。 (損害賠償額 88,519円)
措 置 の 内 容	簡易レッカーの取扱要領に基づき、同資機材を用いた実践的訓練を定期的実施するなど取扱技能の習熟を図り、同種事案の再発防止に努めている。

監 査 対 象 機 関	大野警察署
監 査 の 結 果	公用車の事故（物損1件）により、損害賠償金および修繕費の支払が発生していた。 (損害賠償額 152,998円・修繕費 466,367円)
措 置 の 内 容	交通事故を起こした職員に対しては、道路状況確認の重要性や運転技能等に関する個別指導を実施し、再発防止を図った。 また、全署員に対して、毎朝点検、招集日等あらゆる機会を通じて、交通事故防止対策を指示し意識の向上を図るとともに、緊急走行訓練を実施し、実車による走行技術の確認、緊急走行要領を周知した。

監 査 対 象 機 関	勝山警察署
監 査 の 結 果	公用車を損傷し、修繕費の支払が発生していた。 (修繕費 326,183円、198,385円)
措 置 の 内 容	交通事故防止に関し、毎朝点検時等あらゆる機会を通じて車両運転についての指導教養および注意喚起を行い、意識向上に努めている。 また、事故を起こした職員に対しては、交通事故防止教養および運転指導を実施して、再発防止を図った。

監 査 対 象 機 関	坂井警察署
監 査 の 結 果	公用車を損傷し、修繕費の支払が発生していた。 (修繕費 152,900円、62,359円、1,100円)
措 置 の 内 容	署内全体会を始めとする様々な機会を通じて、天候や交通環境等に応じた具体的な事故防止策を示すなど、繰り返し安全運転に関する意識向上を図っている。 また、当事者に対しては、交通事故防止教養および同乗運転指導を受講させ、再発防止を図った。

監 査 対 象 機 関	あわら警察署
監 査 の 結 果	手数料について、不要な証紙収納額報告を行ったため、年度を超えて証紙特別会計に返還していた。 また、手数料を誤って収納し、後日、過誤納金として還付しているものがあつた。
措 置 の 内 容	担当者がシステムへ収納登録した後は、必ず職員複数名で証紙収納簿と証紙原本を突合し、確認することとした。 また、不要な手数料を誤って収納することのないよう、窓口では、カウンターに注意喚起の案内表示を設け、申請者との双方で申請内容を確認するとともに、受理の際には、他職員が記載内容について再度点検することとし、再発防止を図っている。

監 査 対 象 機 関	鯖江警察署
監 査 の 結 果	公用車の事故（人身・物損1件、物損1件）により、損害賠償金および修繕費の支払が発生していた。 (損害賠償額 713,876円、修繕費 63,239円)
措 置 の 内 容	交通事故を起こした職員に対しては、交通事故防止教養および同乗運転指導講習を受講させ、再発防止を図った。 また、全署員に対し、毎朝点検や招集行事等のあらゆる機会をとらえて、天候や交通環境に応じた具体的な運転方法を指示するほか、交通課員による安全運転教養の実施等を通じ、交通事故防止に対する意識の向上を図っている。

監 査 対 象 機 関	越前警察署
監 査 の 結 果	公用車およびアーケード支柱を損傷し、修繕費の支払が発生していた。 (修繕費 272,619円、99,000円)
措 置 の 内 容	交通事故を起こした職員に対しては、交通事故防止に関する教育と同乗運転指導を実施し、安全運転意識および運転技能を高めさせて交通事故の再発防止を図った。 他の職員に対しては、毎朝点検や招集行事等において、天候や交通環境等に応じた具体的な運転方法、車両の日常点検および駐車時の交通誘導を徹底させる等の交通事故防止対策を指示して、安全運転に対する意識向上を図っている。

監 査 対 象 機 関	敦賀警察署
監 査 の 結 果	公用車の事故（物損4件）により、損害賠償金および修繕費の支払が発生していた。 (損害賠償額 61,380円・修繕費 200,000円、 修繕費 184,254円、29,480円、6,600円)
措 置 の 内 容	当事者に対しては、交通事故防止教養および同乗運転指導を実施し再発防止を図った。 また、全署員に対しては、毎朝点検時等に車両の日常点検や駐車時の交通誘導の徹底、交通事故防止に関する具体的な指示を行っている。

監 査 対 象 機 関	小浜警察署
監 査 の 結 果	1 手数料納付システム利用により納付された手数料について、不要な証紙収納額報告を行ったため、年度を超えて証紙特別会計に返還していた。 2 公用車を損傷し、修繕費の支払が発生していた。 (修繕費 413,919円、172,733円、99,920円)
措 置 の 内 容	1 業務担当課と会計担当課との情報連携を確実にするとともに、関係書類の確認は複数人で行うことにより再発防止に努めている。 2 交通事故防止に関し、毎朝点検における幹部の指示等あらゆる機会を通じて天候や交通環境に応じた具体的な運転方法など交通事故防止対策を指示している。 また、他所属での事故を情報共有し、発生原因や注意点等の交通課長教養を実施している。 当事者に対しては、交通事故防止教養および同乗者指導を受講させ再発防止を図った。